

高校野球のゲーム展開に関する一考察

— イニング別得点に着目して —

立岩 侑起 (競技スポーツ学科 コーチングコース)

指導教員 植田 実

キーワード 野球 イニング 得点

1、緒言

野球はサッカーやバスケットボールのように時間による制限はなく、双方のチームに同じ条件が与えられるスポーツである。その決められた1回から9回のイニングの中で相手チームより多く得点し、勝つことを目的として行われる。そこで、1回から9回までのなかで得点の入る確率の高いイニングと入る確率の低いイニングを理解していれば、今後のコーチング活動に役立てることができると考えた。

本研究は、得点の入る確率の高いイニングと入る確率の低いイニングを明らかにし、その要因を解明することを目的とする。

2、研究方法

(1) エクセルを用いて全試合のイニング別得点を集計した。

(2) 集計結果を以下のように分類した。

- ①最も得点が入る確率の高いイニング
- ②最も得点が入る確率の低いイニング
- ③最も多く得点が入ったイニング
- ④最も少なく得点が入ったイニング

(3) 結果の要因を文献研究によって考察する。

研究対象は、第91,92,93回全国高校野球選手権大会の全試合(144試合)とする。

3、結果と考察

3大会の統計で1回から9回の中で、最

も得点が入ったのは、194得点の6回で、最も得点が入らなかったのは、121得点の2回であった。

6回に最も多く得点が入った理由としては、5回終了時のグラウンド整備によるゲームの中断が影響している。グラウンド整備の間に、指導者が1回から5回までのゲーム展開を把握し、選手に的確な指示を出すことが重要であることが文献研究によって明らかになった。一方、2回に得点が入らなかった理由としては、打順が影響していると考察した。2回は、ほかのイニングと比較して、高い確率で下位打線に突入するため、得点が入りにくいと考えることができる。

4、まとめ

今回の研究では、イニングによって得点の入る確率に差があることを明らかにできたことは有意義なものであった。また、今回は試合のスコアのみに着目して研究を行ったが、選手・指導者に対する精神面へのアンケートも加味した研究も必要だと感じた。

参考文献

- ・蓮見清一(2011) 甲子園を100倍楽しむためのマル秘ノート 宝島社 P98-P103
- ・日本プロフェッショナル野球組織・日本野球連盟(2011) 2011公認野球規則 P82